

学級活動（１）指導案

1. 日時・場所 令和3年11月10日（水）13時35分 ～ 14時20分

2. 議題 「8月～11月生まれのバースデー集会をしよう」

学級目標

仲間のために

やさしくする子

チャレンジする子

自主的に取り組む子

楽しむ子

よく学ぶ子

やる気を出す子

3. 議題について

（１）児童の実態

プラス思考で、何にでも明るく真面目に取り組もうとする子が多い。控えめに行動するものの、内側に秘めた思いが強い集団である。一人一人は個人の主張が強く、こだわりをもった子が多い。また、折り合いをつけることが苦手な子が多数おり、現在、学級会や集会活動、係活動で育てている段階である。4月に子供たちと学級目標について話し合った。「やさしさ」「チャレンジ精神」「自分から動く」「楽しむ」「しっかり勉強する」「やる気を出す」といった一人一人の思いを子供たち同士が共有した。その思いを生かして仲間のためにエネルギーを使っていこうという学級目標が生まれた。これまでの6カ月、学級目標を意識しながら一人一人の自己肯定感を高め、主体的に学校生活を送り、協働できるように支援してきた。相手意識をもち、クラスみんなで協力して集団を高めることで個を育てる学級づくりを目指してきた。

学級活動（1）では、6度の学級会と5度の集会を行った。第1回の学級会「4年〇組よろしく集会をしよう」では、昨年までの学級会の経験の素地を生かして、「集会でやる遊び」を一つ決め、どのように工夫したらめあてを達成できるか話し合った。この授業では、合意形成の形を支援した。第2回の学級会「梅雨だけどがんばろう集会をしよう」では、外で遊べない日が続いてもクラスみんなで楽しいことをしたいという提案者の思いから提案された。学級目標「仲間のために」寄り添った話合いになるように支援をした学級会となった。やる遊びを一つ決めることに少し慣れてきて、後半の話合いではどんな工夫をすると「仲間のために」なるか盛り上がった。第3回の学級会「夏休みだ！おつかれサマー！バースデー夏祭りをしよう」では、5月から7月生まれの子の誕生日パーティーを提案したバースデー係とシンプルに夏祭りをしたい有志二人が協力して提案した。「やりたい遊びを一つ」決める柱1の話合いでは「屋台」に決まり、柱2の話合いでは、夏祭りをするために必要な話合いが行われ、役割分担がなされ、次の日から準備をすることができた。誕生日のお祝いは、集会のプログラムの中に「係からの出し物」という形で組み込まれ、クラス全員で祝った。



学級目標に向かいながら、実践を積み重ねてきたことでクラスの雰囲気がまとまってきた。仲間のためになることをすれば、自分も成長するという実感をもつ子が多くなった。学級会でみんなで話し合い、楽しいことをすればクラス全体が仲よくなり、学校に来るのが楽しくなる、といった振り返りが多いことも現段階での成果と言える。

今後の課題としては、合意形成をする力を育てていく中で、意見と意見を合わせることはできてきたが、このことで生じる時間的な圧迫や子供たちの負担が気がかりである。学級会で壮大なことが決まり、多方面にわたり実践をしようした時に、本来のめあてからそれてこないように教師の適切な支援が必要となる。クラスの学習過程や休み時間が忙しくなることをできるだけ避け、子供たちが楽しい学活と思えるようにしたい。そのためには、学級会の話合いで、集団のために譲り合うこと、我慢することができるかという感じている。教師が折り合いをつける力を指導していくと、さらによりよい人間関係づくりのために必要な感性が育つのではないかと考える。そして、高学年になった時に、児童会活動を運営していく中で学級会で身に付けた折り合いをつける力を発揮してほしい。代表委員会で、子供たちの自主的、実践的な話合いが行われるように中学年（特に4年生）の学級会は重要である。

Chrome book を活用した手立て

クラスルームでは、学級活動を中心とした取り組みや他教科での子どもたちのがんばりに対する価値付けを行っている。

場面 (教科など)	内容 (フィードバック)
学級会 (話し合い活動)	話し合っている様子や板書を撮影して記録し、担任がよさを価値付けし、子供たちが「頑張ろう！」と思える言葉を投稿しておく。
集会活動	集会の時の様子を撮影して記録し、以後の集会や学級会のために保存しておく。 (現在は集会の振り返りカードを紙面で記入もしているが、同時進行しながら、クラスルームだけにするか検討中)
係活動 当番活動	係や当番活動に対して、教師の指導のもと、ジャムボードで子供たち同士で投稿する。
行事や校外学習の価値付け	子供たち同士が、教師の指導のもと、ジャムボードで感謝の言葉を投稿する。 行事や校外学習の際のよかったところや担任からの言葉を投稿する。(写真があれば写真も投稿する)

(2) 議題選定の理由

後期になり、新しい係活動がスタートした。そこで、提案者グループのメンバーが

「そう言えば、バースデー係がない」

「いいなあ、もう誕生日祝ってもらった人」

「おれ、まだ誕生日じゃないけど、祝ってもらいたかったなあ。」

「とりあえず、8月から11月生まれの方の集会した方がいいんじゃない？」

「え、でもみんなで話し合った方がいいんじゃない？」

といった声が担任に寄せられた。この事から、今回の学級会の議題は「8月～11月生まれのバースデー集会をしよう」に選定された。

7月に、5月から7月生まれの誕生日のお祝いの集会を行い、4年1組では初めてクラスみんなで誕生日のお祝いをした。その集会の振り返りカードの中に「いつか自分も誕生日をクラスみんなに祝ってもらいたい」という内容のコメントが多かった。

夏休みが明け、第6回の学級会が開かれた時に、議題選定で他の提案者グループに議題を譲ってくれたグループが今回の提案者となって今のクラスに必要な議題を担当と一緒に考えた。

「誕生日のお祝い」という集会ではあるものの、めあてを変化させて集団の力を育てられると考える。7月の集会の時は、「夏祭りの雰囲気でお祝いしよう」というめあてのもと、季節感を出して集団を楽しむよさを味わった。今回は、提案者の子たちが「まだお祝いをされていない友達を大切にしたい。」という提案理由から、「クラスみんなでお祝いをする集会にしよう」というめあてとした。このめあてのもと、クラスの児童数が多くても全員が全員を残すことなく大切な仲間のために準備をしようと思えるように育てていきたい。

4. 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	・児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿【観点】〈評価方法〉
10月中旬	・議題箱に「8月～11月の誕生日のお祝いをしたい」という思いが寄せられる。	○事前に話し合い活動の意味について確認し、どんな学級にしていきたいのか考えて意見を入れるよう促しておく。	☆アイデアを議題箱に入れて、よりよい学級生活をつくろうとしている。 【主体的態度】〈観察〉
10月20日 中休み	・議題ポストの議題を確認し、議題を選定する。	○みんなで話し合いながら会が計画できるよう助言する。 ○寄せられた議題の中から教師と一緒に議題を選べるようにする。	☆寄せられた議題案の中から今の学級にふさわしい議題を選んでいる。 【思考・判断・表現】〈観察〉
10月下旬 中休み	・事前打ち合わせ①	○提案者と今後の方向性の確認をする。 ○提案理由、めあて、プログラムを設定する。	
11月1日 朝の時間	・事前打ち合わせ② クラス全体に学級会の予告をする。	○話し合いカードの記入と「柱1集める段階」短冊を配付して記入する。 (出し合う)	
11月4日 中休み	・計画委員会で、役割分担を行い、話し合いの進め方を確認する。	○計画委員会において、役割分担を行うとともに、話し合いの進め方を確認するよう助言する。	☆話し合いの進め方について理解している。 【知識・技能】 〈観察・学級会ノート〉

(2) 本時の活動

①ねらい 学級目標に近づくために集会の内容を話し合っで決めることができるようにする。

②児童の活動計画

第6回 4年〇組 学級会 活動計画 令和3年 11月10日(水) 第5校時	
議題	8月～11月生まれのバースデー集会をしよう
提案理由 提案者 有志6名	まだお祝いをされていない8月から11月生まれの友達の誕生日のお祝いをして楽しみ、一人一人が大切にされることでクラスの仲を深めたいから。
司会グループ	Fグループ7名
話合いのめあて	クラスみんなでお祝いをする集会にしよう。
決まっていること	日時 11月24日(水) 第5校時 場所 教室 司会 提案者グループ プログラム 1 はじめ言葉 2 遊び 3 提案者からの出し物 4 記念写真 5 先生から 6 終わりの言葉
話合いの順序	進行司会が気を付けること
1 はじめの言葉	・大きな声ではっきりと話す。(司会)
2 司会グループの紹介	・一人ずつ役割と名前、めあてをはっきりと話す。(司会グループ)
3 議題の確認	・司会の後、クラス全員でも確認する。
4 提案理由の確認	・提案者は立ち、全体に伝わるように話す。
5 決まっていること の確認	
6 話合いのめあての 確認	・司会の後、全員でも確認する。
7 話合い 柱①「やりたい遊び」	・黒板に短冊を整理して貼っておき、「比べる段階」から話し合う。 ・めあてに合わせてクラスみんな遊ぶものを一つ決める。
柱②「めあてを達成 するための工夫」	・今までの集会活動を思い出しながら、どんな工夫ができるか、どんな役割が必要か考える。 ・いくつあってもよいが、準備期間などできる範囲をみんなで話し合う。
8 決まったことの発表	・わかりやすくまとめて発表する。(ノート記録)
9 ふりかえり	・時間を見て、2～3人に発表する。
10 先生の話	
11 おわりの言葉	・元気よく挨拶をして終了する。

③教師の指導計画

話合いの順序	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿【観点】〈評価方法〉
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 計画委員(司会グループ)の紹介</p> <p>3. 議題の確認 「8月～11月生まれのバースデー集会をしよう」</p> <p>4. 提案理由の確認 「まだお祝いをされていない8月から11月生まれの友達の誕生日のお祝いをして楽しみ、一人一人が大切にされることでクラスの仲を深めたいから。」</p> <p>5. 話合いのめあての確認 「クラスみんなでお祝いをする集会にしよう。」</p> <p>6. 決まっていることの確認 やる日 11月24日(水) 第5校時 場所 教室 司会 提案者 プログラム ① はじめの言葉 ② 遊び(決まった内容) ③ 提案者からの出し物 ④ 記念写真 ⑤ 先生から ⑥ 終わりの言葉</p> <p>7. 話合い 柱①やりたい遊び(一つ) 柱②めあてを達成するための工夫</p> <p>8. 決まったことの確認</p> <p>9. 話合いの振り返り</p> <p>10. 先生の話</p> <p>11. おわりの言葉</p>	<p>○進め方などでつまずいた時には、近くで助言する。</p> <p>○話合いのめあてからそれた場合は、めあてを再度確認するよう声をかける。</p> <p>○できるだけ自分たちで決定できるように見守り、話合いが行き詰まってしまった時には助言する。</p> <p>○友達の思いを想像し、そこに寄り添って聞こうとしたり、相手に応えるために自分の思いを伝えようとしたりする姿を見取り、本時や事後の活動などに生かせるようにする。</p> <p>○司会グループのがんばっていた点、めあてや友達を意識した意見や態度などを見付けて称賛し、意欲をもって実践できるようにする。</p>	<p>☆計画委員として司会や記録などの役割を果たして話合いを進めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 〈観察〉</p> <p>☆友達の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考えて話合いに参加している。</p> <p>【思考・判断・表現】 〈観察・学級会ノート〉</p>

(3) 事後の活動

活動の場	児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿【観点】〈評価方法〉
11月11日 朝の会	・集会の役割分担などの確認をする	○これまでの経験を生かし、必要な役割を考えて全員で分担できるようにする。	☆役割分担に基づいて協力して準備を進めている。 【思考・判断・表現】 〈観察〉 ☆めあてを意識して、友達と協力して活動している。 【思考・判断・表現】 〈観察〉 ☆活動に対する自分の取り組み方や、学級全体としての実践を振り返り、今後の学級活動への見通しをもって取り組もうとしている。 【主体的態度】 〈学級会ノート〉
11月11日 中休み～	・役割毎に集会に向けて準備をする。	○準備の進捗状況を確認し、活動意欲が継続するよう声かけをする。	
11月24日 学級活動	・8月～11月生まれのバースデー集会を行う。	○めあてを提示し、意識できるようにする。 ○振り返りでは、互いのよさを認め合えるような場にし、自分たちでつくることができたことを実感することができるようにする。	
11月24日 帰りの会	・振り返りカードを書く。	○次にどんなことをしたいか、また今回の課題をどのように次に活かしていきたいかを、中心に考えられるよう助言する。	